2019年6月期
決算説明会

（2018年7月1日～2019年6月30日）

進化する明日へ Continue thinking

I-O DATA

株式会社 アイ・オー・データ機器

会社概要

設立	１９７６年1月１０日
代表者	代表取締役会長　細野昭雄 代表取締役社長　濵田尚則
本社所在地	石川県金沢市
資本金	３５億８，８０７万円
年商	５９２億円（2019年6月期 連結）
従業員数	５２７名（2019年6月末時点 連結）
事業内容	PC・家電・スマートデバイス周辺機器の製造・販売
事業所	東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、広島、福岡
子会社	【台湾】國際艾歐資訊股份有限公司　【香港】艾歐資訊香港有限公司 【USA】I-O DATA America, Inc.　【日本】ITGマーケティング株式会社 【ﾍﾞﾄﾅﾑ】I-O DATA VIETNAM CO., LTD.（9月営業開始予定）
関連会社	【ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ】I-O & YT Pte. Ltd.　【日本】クリエイティブ・メディア株式会社
上場	６９１６ 東京証券取引所第一部

2019年度6月期 損益計算書

（単位：百万円）

	2018年6月期 金額	（構成比）	2019年6月期 金額	（構成比）	前年同期比較 増減額	（増減率）	主な増減要因
売上高	**55,441**		**59,223**		**3,782**	**(6.8%)**	・上向く企業のIT投資、PCの更新需要等を捕える
売上総利益	10,712	(19.3%)	10,789	(18.2%)	77	(0.7%)	・先行確保した無線LANルーターの案件在庫の余剰分に対する評価損369の計上、HDDの価格競争が響き伸び悩む
販売費及び一般管理費	7,741	(14.0%)	8,559	(14.5%)	818	(10.6%)	・主な増加項目 -研究開発費、広告宣伝費 -減価償却費、人件費 -物流費等変動費
営業利益	**2,971**	**(5.4%)**	**2,230**	**(3.8%)**	**▲741**	**(▲24.9%)**	
営業外収益	239		202		▲37	(▲15.5%)	
営業外費用	199		260		61	(30.7%)	
経常利益	**3,011**	**(5.4%)**	**2,172**	**(3.7%)**	**▲839**	**(▲27.9%)**	
特別損失	26		47		21	(80.8%)	
法人税等合計	882		0		▲882		・繰越税金資産の回収可能性の見直しにより、繰延税金資産を追加計上し法人税等調整額▲916を計上。
非支配株主に帰属する当期純利益	35		39		4	(11.4%)	
親会社株主に帰属する当期純利益	**2,066**	**(3.7%)**	**2,085**	**(3.5%)**	**19**	**(0.9%)**	
期中平均為替レート（*USD*）	*110.34*円		*111.12*円				

2019年6月期 損益計算書 四半期推移

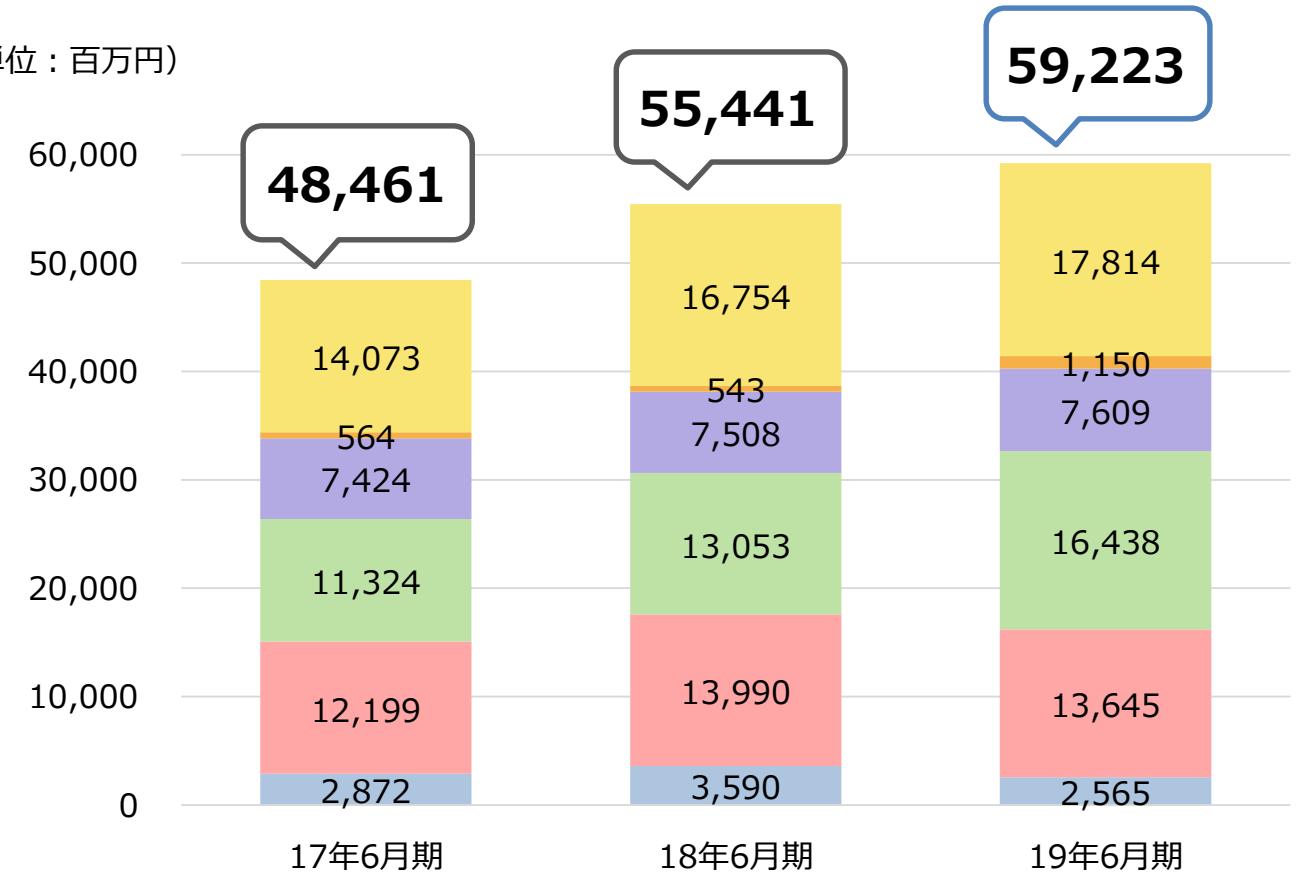
（単位：百万円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
売上高	**13,346**	**16,881**	**14,816**	**14,180**	**59,223**
売上総利益 （粗利率）	2,678 (20.1%)	2,935 (17.4%)	2,738 (18.5%)	2,438 (17.2%)	10,789 (18.2%)
販売費及び一般管理費 （販管比率）	2,055 (15.4%)	2,242 (13.3%)	2,133 (14.4%)	2,129 (15.0%)	8,559 (14.5%)
営業利益 **（利益率）**	**622** **(4.7%)**	**693** **(4.1%)**	**605** **(4.1%)**	**310** **(2.2%)**	**2,230** **(3.8%)**
営業外収益	71	27	63	41	202
営業外費用	41	55	16	148	260
経常利益 **（利益率）**	**652** **(4.9%)**	**665** **(3.9%)**	**652** **(4.4%)**	**203** **(1.4%)**	**2,172** **(3.7%)**
特別損失	0	44	0	3	47
法人税等合計	213	195	172	▲580	0
非支配株主に帰属する 四半期純利益	▲1	17	21	2	39
親会社株主に帰属する 四半期純利益（利益率）	**441** **(3.3%)**	**409** **(2.4%)**	**458** **(3.1%)**	**779** **(5.5%)**	**2,085** **(3.5%)**
期中平均為替レート（*USD*）	*111.46*円	*112.90*円	*110.20*円	*109.90*円	

2019年6月期 部門別売上高

上向く企業のIT投資、ｅスポーツ・新４Ｋ衛星放送等新市場への取り組みにより、液晶・特注・商品部門を中心に伸張

（単位：百万円）



前年同期比	増減額	増減率
商品・その他	1,060	6.3%
特注	607	111.6%
周辺機器	101	1.3%
液晶	3,385	25.9%
ストレージ	▲345	▲2.5%
メモリ	▲1,025	▲28.5%

2019年6月期 貸借対照表

（単位：百万円）

	2018年6月末	2019年6月末	前年同期比較	主な増減理由
流動資産	31,705	30,134	▲1,571	
現金及び預金	9,114	7,502	▲1,612	・設備投資（能美物流センター：2019年4月完成）
受取手形及び売掛金	11,854	11,236	▲617	
たな卸資産	10,072	10,745	672	
その他の流動資産	663	649	▲14	
固定資産	8,086	10,198	2,112	
有形固定資産	4,621	6,103	1,482	・物流倉庫建設に伴う建物及び構築物の計上（1,821）
無形固定資産	1,267	1,254	▲13	
投資その他の資産	2,198	2,841	643	
資産合計	**39,792**	**40,333**	**540**	
流動負債	12,264	12,240	▲24	
支払手形及び買掛金	8,306	6,871	▲1,434	・期末付近の発注減少
短期借入金	-	1,000	1000	
その他の流動負債	3,956	4,367	411	
固定負債	1,852	1,538	▲314	
負債合計	**14,116**	**13,778**	**▲338**	
株主資本合計	24,970	26,178	1,208	・利益の計上、剰余金の配当 ・自己株式取得（▲468）
その他の包括利益累計額合計	575	217	▲358	
非支配株主持分	129	158	29	
純資産合計	**25,675**	**26,554**	**879**	
負債純資産合計	**39,792**	**40,333**	**540**	

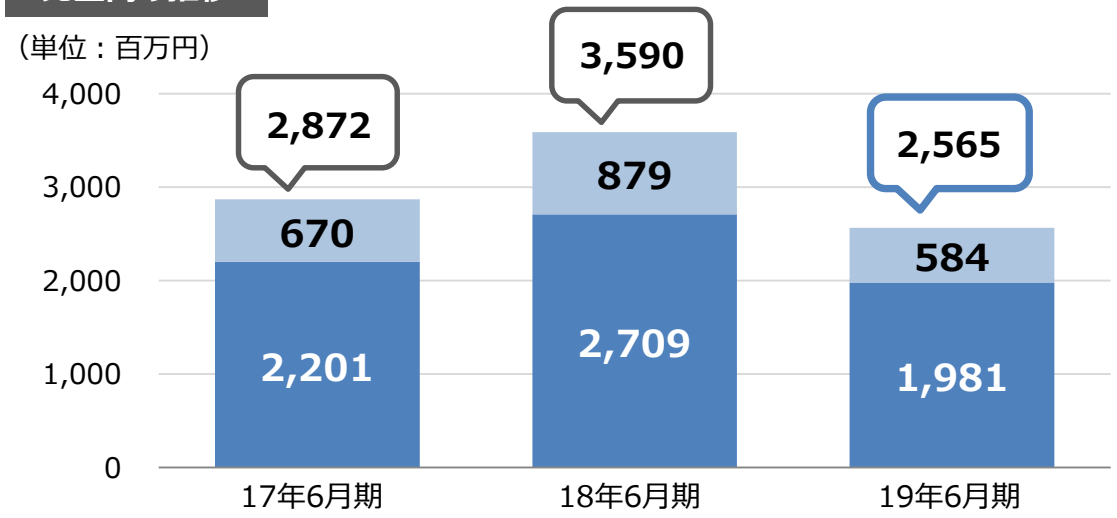
部門別の概況

メモリ部門

メモリモジュール：半導体市況に連動し単価は下落し、販売も伸び悩む

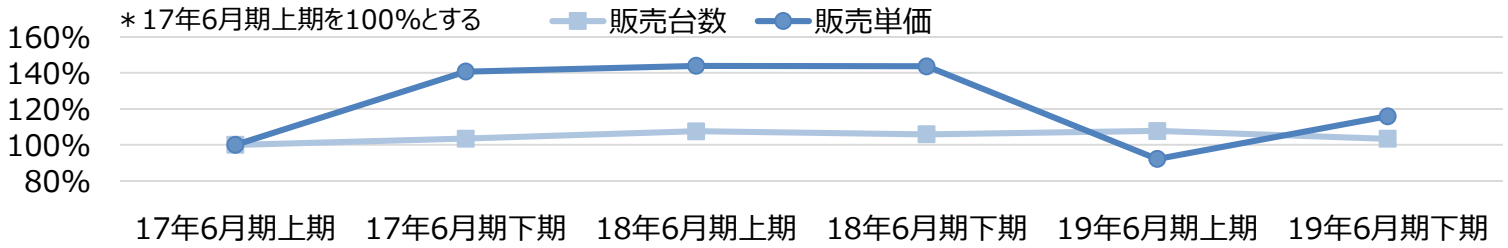
フラッシュメモリ（メモリカード・ＵＳＢメモリ等）：半導体市況に連動し単価は下落するも販売堅調

売上高の推移



前年同期比	増減額	増減率
メモリモジュール	▲295	▲33.6%
フラッシュメモリ	▲728	▲26.9%

当部門全体の台数・単価の増減推移



前年同期比	増減率
販売台数	▲1.1%
販売単価	▲27.8%

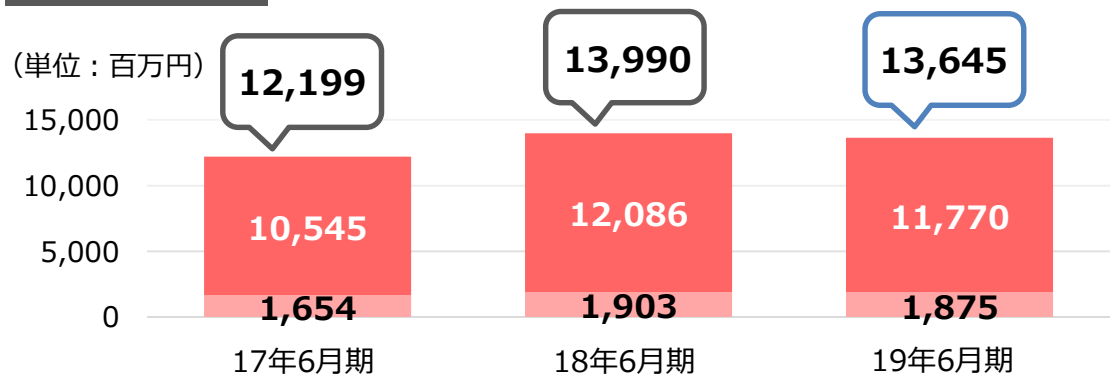
※18年6月通期と19年6月通期の比較

ストレージ部門

ハードディスク　　：上期は市場シェア・販売単価共に改善し好調に推移するも、下期の価格競争により結果減収となる

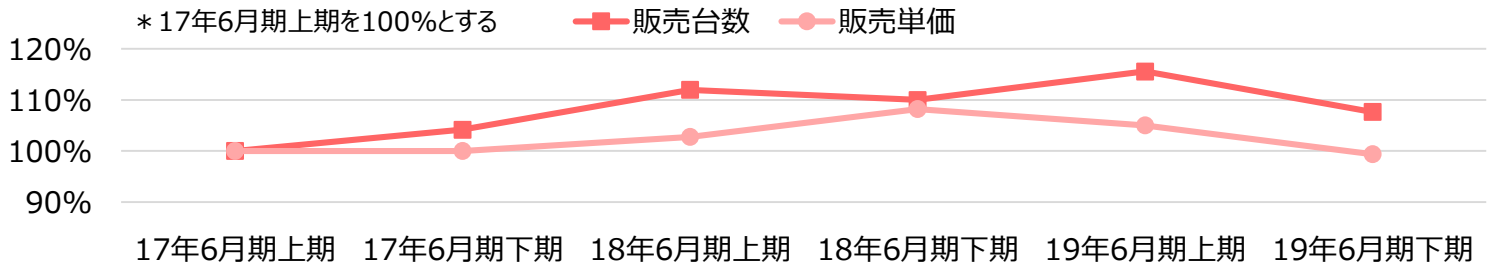
光ディスクドライブ：販売堅調ながら単価の低下により売上は伸び悩む

売上高の推移



前年同期比	増減額	増減率
HDD	▲316	▲2.6%
DVD/BD	▲28	▲1.5%

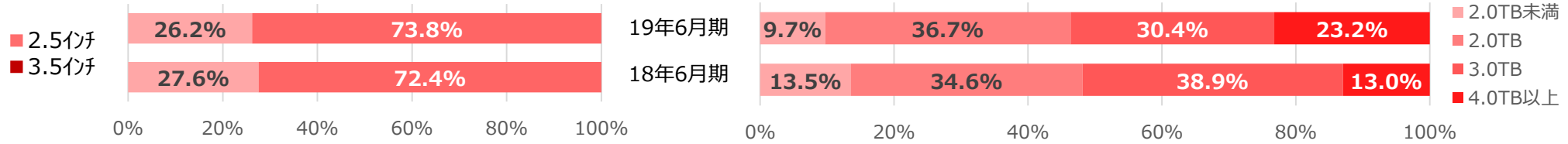
当部門全体の台数・単価の増減推移



前年同期比	増減率
販売台数	0.6%
販売単価	▲3.0%

※18年6月通期と19年6月通期の比較

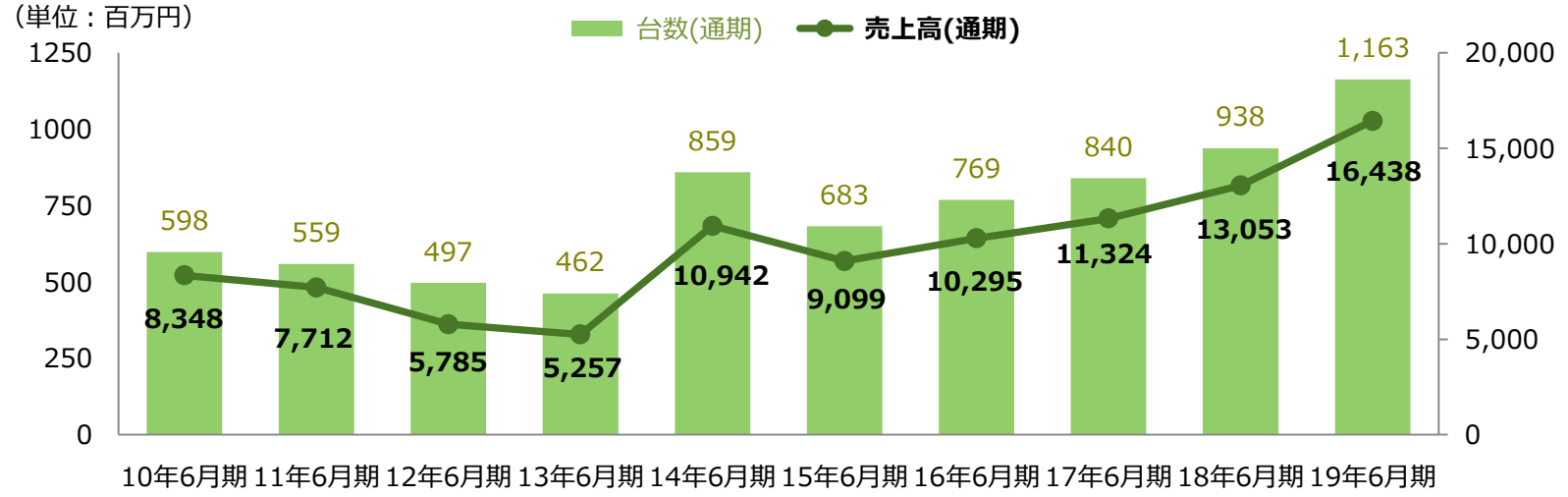
外付HDDの容量の内訳



液晶部門

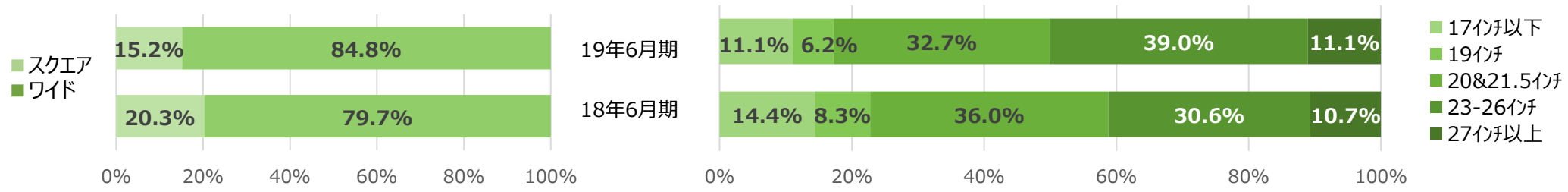
企業のIT投資増を追い風に、オフィスモデルや大型モニターの販売が好調に推移した他
拡大するｅスポーツ市場攻略に向け、ラインナップの充実と有力チームへのスポンサーや公式大会への機材提供を通じたブランド力強化に励む

売上高・販売台数の推移



前年同期比	増減率
売上高	25.9%
台数	24.0%

型・サイズ別内訳 [販売台数]



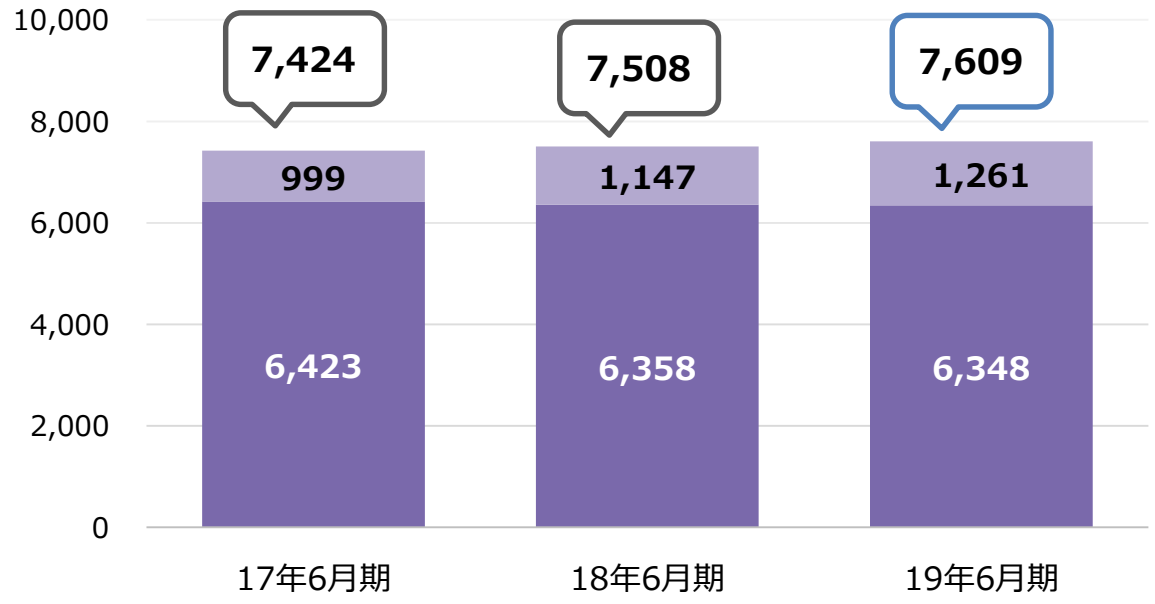
周辺機器部門

映像関連分野　：新4K衛星放送チューナーを上市した他、地デジ用チューナー、ゲーム動画キャプチャー製品が堅調に推移

ネットワーク分野：無線LAN・NAS等、新モデルやサービス開発に努めたものの前期実績に僅かに及ばず

売上高の推移

（単位：百万円）



前年同期比	増減額	増減率
映像関連分野	114	9.9%
ネットワーク分野	▲10	▲0.2%

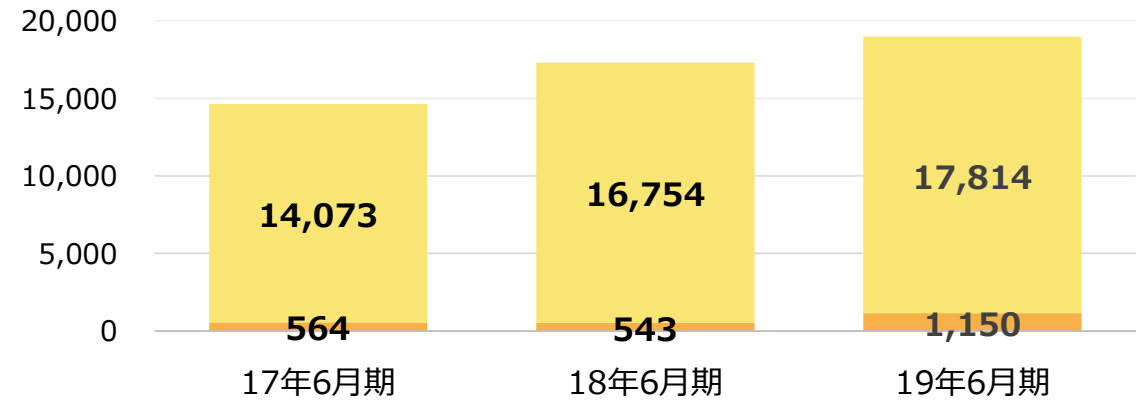
特注部門/商品およびその他部門

特注部門　　：通信事業者向け無線LANルーターの複数案件獲得により伸長

商品およびその他部門　：サムスン電子製SSDやスマートフォン関連商品、WD製ハードディスク等の販売好調

売上高の推移

（単位：百万円）



前年同期比	増減額	増減率
商品・その他	1,060	6.3%
特注	607	111.6%

商品、その他

SAMSUNG
SSD, Galaxyオプション

※SSDは子会社ITGマーケティング㈱にて販売

WD
外付けハードディスク

Verbatim
ディスクメディア、フラッシュメモリ

※2020年6月期以降も取扱い継続予定

Creative
スピーカー、音響

2020年6月期の業績見通し

2020年6月期　損益計算書（予想）

（単位：百万円）

	2019年6月期 金額	（構成比）	2020年6月期 (予想) 金額	（構成比）	前年同期比較 増減額	（増減率）	主な増減要因
売上高	**59,223**		**62,000**		**2,777**	**(4.7%)**	・eスポーツ関連市場の成長と企業や教育分野における大型モニターの需要増加を見込む
売上総利益	10,789	(18.2%)	11,500	(18.5%)	711	(6.6%)	・当面足下の部材市況が継続することを前提に、増収効果並びに前期の在庫評価損等の改善を見込む
販売費及び一般管理費	8,559	(14.5%)	9,050	(14.6%)	491	(5.7%)	・増収に伴う物流費の増加の他、新市場開拓に係る研究開発費、広告宣伝費等の増額を見込む
営業利益	**2,230**	**(3.8%)**	**2,450**	**(4.0%)**	**220**	**(9.9%)**	
経常利益	**2,172**	**(3.7%)**	**2,450**	**(4.0%)**	**278**	**(12.8%)**	・営業外収益、営業外費用については、定常発生額のみを想定
親会社株主に帰属する当期純利益	**2,085**	**(3.5%)**	**1,700**	**(2.7%)**	**▲385**	**(▲18.5%)**	・特別利益、特別損失は見込まず。税金費用と少数株主利益に750を見込む

・為替レートの想定　：　1ドル108円

・研究開発費の予想　：　1,450百万円　（前年同期比 ＋ 176百万円）

・設備投資の予想　：　330百万円　（前年同期比 ▲1,712百万円）

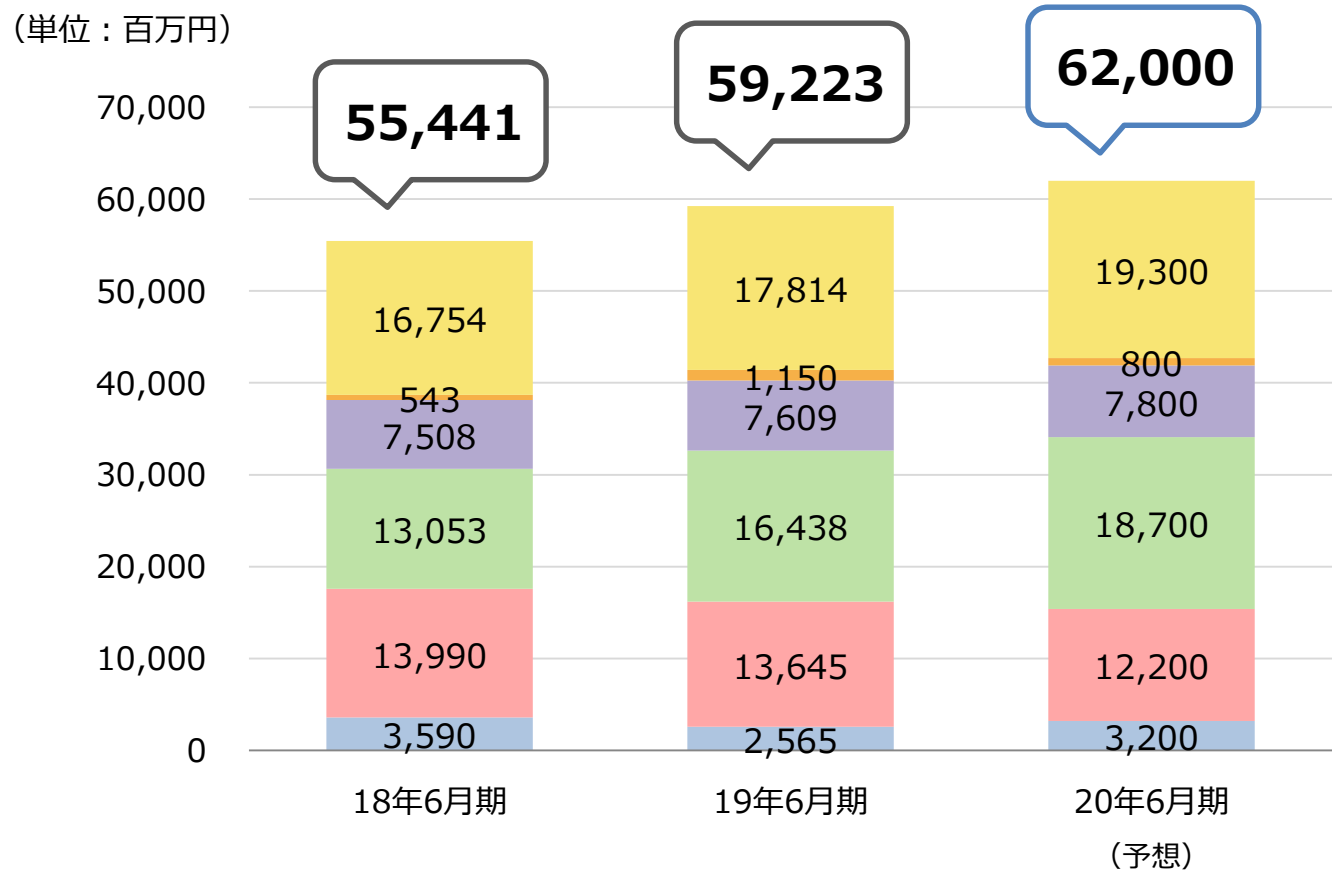
内訳：能美物流センター建設に係る投資：78百万円
（前々期・前期実績：24億42百万円、投資総額累計25億20百万円）

・減価償却費の予想　：　650百万円　（前年同期比 ＋ 76百万円）

内訳：能美物流センター稼働に伴う減価償却費は年間約1億円。
2019年5月稼働のため、当期は約76百万円の減価償却費の増加を見込む。

2020年6月期　部門別売上高（予想）

主に、企業・教育市場における大型モニター需要の増加、ｅスポーツ市場拡大を背景に「液晶部門」の増収を見込む
また、「メモリ部門」「商品・その他部門」では、SSDの成長に期待



前年同期比	増減額	増減率
商品・その他	1,486	8.3%
特注	▲350	▲30.4%
周辺機器	191	2.5%
液晶	2,262	13.8%
ストレージ	▲1,445	▲10.6%
メモリ	635	24.8%

注力分野

注力分野

- 大型モニターの展開
- eスポーツ
- ４Kチューナー
- 安心を手軽に
- サービスの充実
- クラウド・IoTサービス化

大型モニターの展開

65型
電子黒板
開発中

オフィス

デジタルサイネージ

学校 ・・・ ICT環境整備5か年計画 （2018-2022年度）

＊タッチパネル化オプション「てれたっち（DA-TOUCH）」もセット提案

e スポーツ

ゲーミングモニター

ヘッドセット

ゲームキャプチャー

e スポーツ

「全国都道府県対抗 ｅスポーツ選手権 2019 IBARAKI」の実施競技２タイトルの予選会公式機材に当社ゲーミングモニター「GigaCrysta」が採用されました。

全国都道府県対抗 eスポーツ選手権 2019 IBARAKI

コナミ	ウイニングイレブン 2019	セガゲームス	ぷよぷよeスポーツ
予選会日程	2019年4月13日～9月1日	予選会日程	2019年4月6日～8月17日

※一般に、会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

４Kチューナー

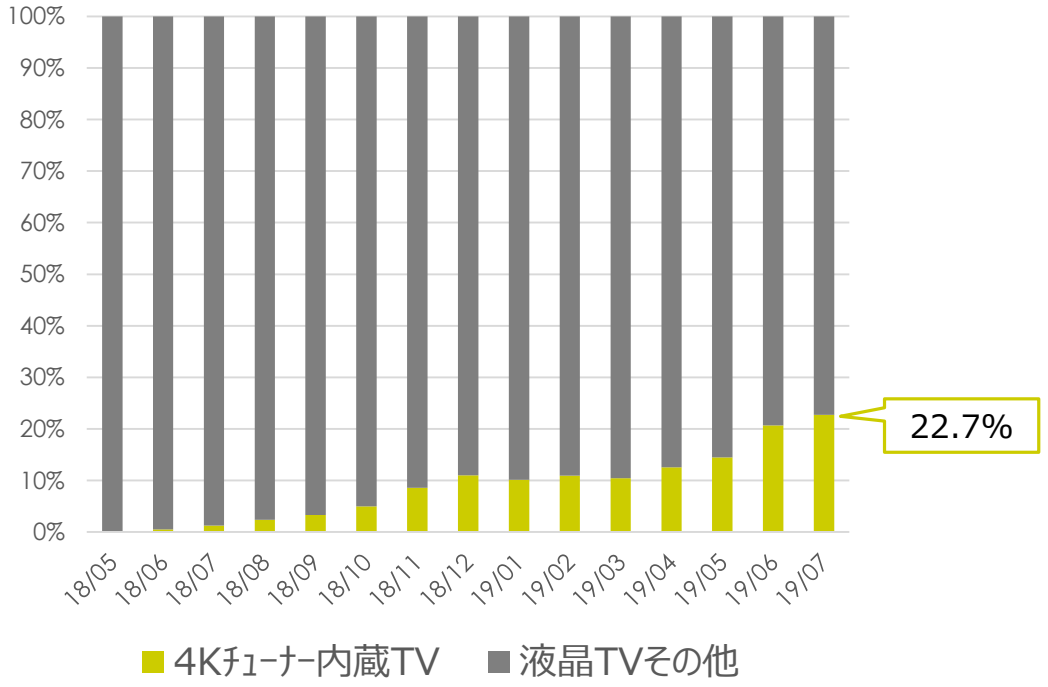
NEW
2018年11月末発売

新4K
衛星放送対応
チューナー

4K（対応）テレビの国内出荷台数は
累計*500万台を超える。
（* 2011年の発売開始から2018年9月迄）

※一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)発表より

液晶TV市場に占める
４Kチューナー内蔵モデルの割合



視聴世帯は徐々に増加。
外付けチューナー需要の立ち上がりに期待。

※BCN社「月次」液晶テレビ販売数量より集計

安心を手軽に

※一般に、会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

サービスの充実 ～ LCM（ライフサイクルマネジメント）

検討
購入

導入

管理

増設
移設

故障
障害

回収
引取

インフォメーションデスク

設置

問い合わせ窓口

コンテンツ移行

障害予兆通知

データ消去

リプレイス

データ復旧

保守

?

サービス展開例

2011年12月～

2017年11月～

HDDの異常を検知
「予兆通知サービス」

NEW 2018年10月～

データ消失を未然に防ぐために。

ハードディスクの健康状態を診断

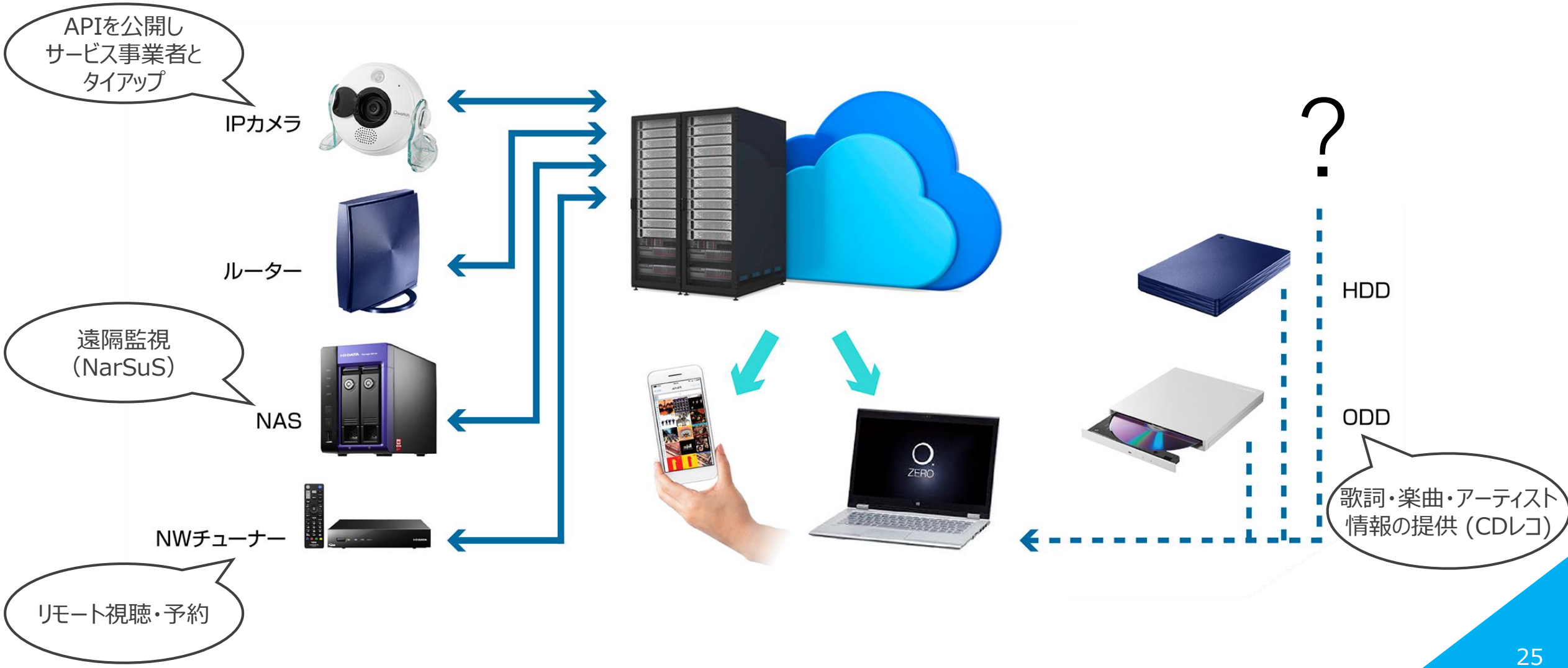
HDD診断アプリ
診断ミレル

無償ダウンロード提供

対応OS：Windows 10／Windows 8.1／Windows 7

クラウド・IoTサービス化

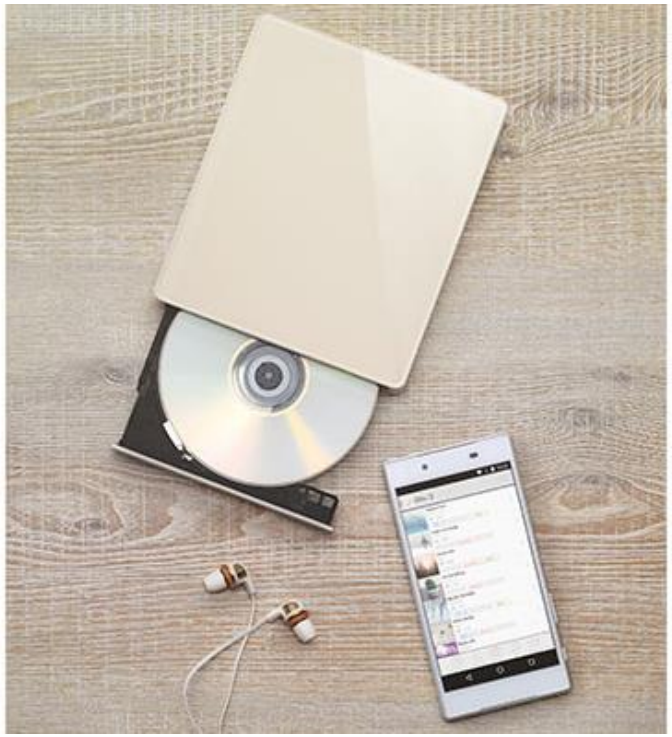
独自に、そして、他社連携を通じてインターネット経由のサービス化を展開



サービス展開例 - 音楽・エンタメ

CDレコ

（CDレコ）



お気に入りのCDがカンタンにスマホに入る

歌詞やアーティスト情報も楽しめる

コラボモデルの発売、TVショッピング等を通じて、新たな顧客層にもアプローチ

DVDミレル

（DVDミレル：CDレコ関連商品）

＊資料お取扱い上のご注意＊

１．本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、
投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、
本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、
投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。

２．本資料中の業績予想ならびに将来予測に関する記述は、当社が資料
作成時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済情
勢の変動や予測不可能な不確定要因の影響を受けます。
従って、実際の業績は本資料中の予想に関する記述とは大きく異なる
可能性があることをご承知おきください。

３．本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切
責任を負うものではありませんのでご了承ください。

I-O DATA